

令和7年9月4日

「Made in 福島市」の優れた製品を市の事業で活用します！ ～ ふくしま新製品・新システム応援事業 ～

ふくしま新製品・新システム応援事業を通して、市内企業が開発・製造した下記の2製品を市が活用し応援することで、企業の製品開発における“チャレンジ”を後押しします。

記

1 「あるくメカトロウィーゴ」を活用したプログラミング授業

- (1) 日 時:令和7年9月11日(木) 午前10時20分～(受付:午前10時10分)
- (2) 場 所:渡利小学校 6年2組(渡利字八幡町120)
- (3) その他
 - ・駐車場確保のため、取材を希望される場合は9月9日(火)までに産業雇用政策課へ事前連絡をお願いします(電話:024-515-7746)。
 - ・取材の際は、所属が分かる腕章等を着用し、小学校事務室で受け付けをしてください。



◀教育用プログラミングロボット「あるくメカトロウィーゴ」

画像出典:
「あるくメカトロウィーゴ HP」
<https://walkingmechatrowego.com/>



© MODERHYTHM / Kazushi Kobayashi

2 自動皮むき機「瞬助」を活用した給食調理

令和7年10月頃より、児童の定員が100人を超える市立保育施設(※)の給食調理に活用し、作業効率や衛生レベルの向上を図り、調理の負担軽減と安全安心な給食の提供を行います。なお、衛生上の都合により、給食調理の様子取材はできません。

※児童の定員が100人を超える市立保育施設

- ・御山保育所
- ・ふくしま中央認定こども園
- ・ひらの認定こども園
- ・(仮称)もりあい認定こども園(令和8年4月開園予定)



▲自動皮むき機「瞬助」

画像出典:
「株式会社アストラ HP」
<https://e-astra.co.jp/>



<ふくしま新製品・新システム応援事業>
担当:産業雇用政策課 産業政策係
課長 齋藤 課長補佐 神野
電話 024-515-7746(直通)

<市立小中学校のプログラミング教育>
担当:教育研修課 学校 ICT 推進係
課長 齋藤 係長 安齋
電話 024-572-5545(直通)

<市立保育施設の給食>
担当:幼保支援課 幼保支援係
課長 矢部 課長補佐 羽田
電話 024-572-3122(直通)

【別紙】

1 教育用プログラミングロボット「あるくメカトロウィーゴ」

アサヒ電子株式会社第二工場(福島市丸子)で製造されている教育用プログラミングロボットです(開発:株式会社リビングロボット)。難しい知識がなくても直感的に動かすことができ、楽しくプログラミングを習得することができます。

主に市立小中学校のプログラミング授業で活用し、子どもたちの自発的な学びを引き出します。

2 自動皮むき機「瞬助」

株式会社アストラ(福島市飯坂町平野)が開発・製造している調理用電動ピーラーです。

種類によって大きさや形状、柔らかさなどが異なる20種類以上の果物等に対応し、特許取得技術により滑らかで綺麗に素早く皮をむくことができます。

3 ふくしま新製品・新システム応援事業

市内企業が開発や製造を手掛けた製品を、市や事業所等で活用し、感想や改善点等を企業にフィードバックすることで、製品の販路拡大や改良を支援し、本市産業の活性化を図る事業です。

市HP「ふくしま新製品・
新システム応援事業」

